

図 6.1.5-33 オキナワイシカワガエルの確認位置 (N-1 地区)

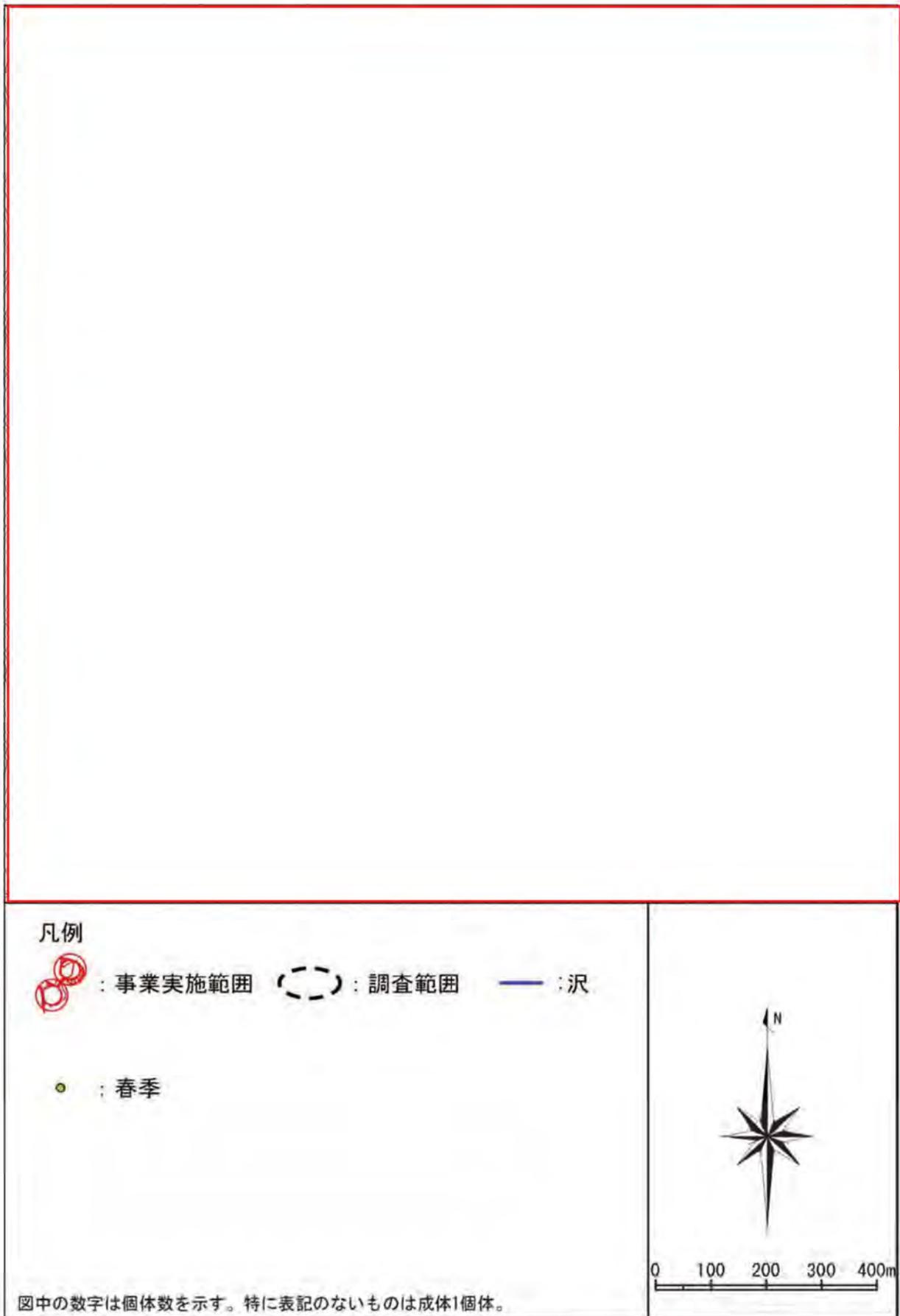


図 6.1.5-34 ハナサキガエルの確認位置(N-1 地区)

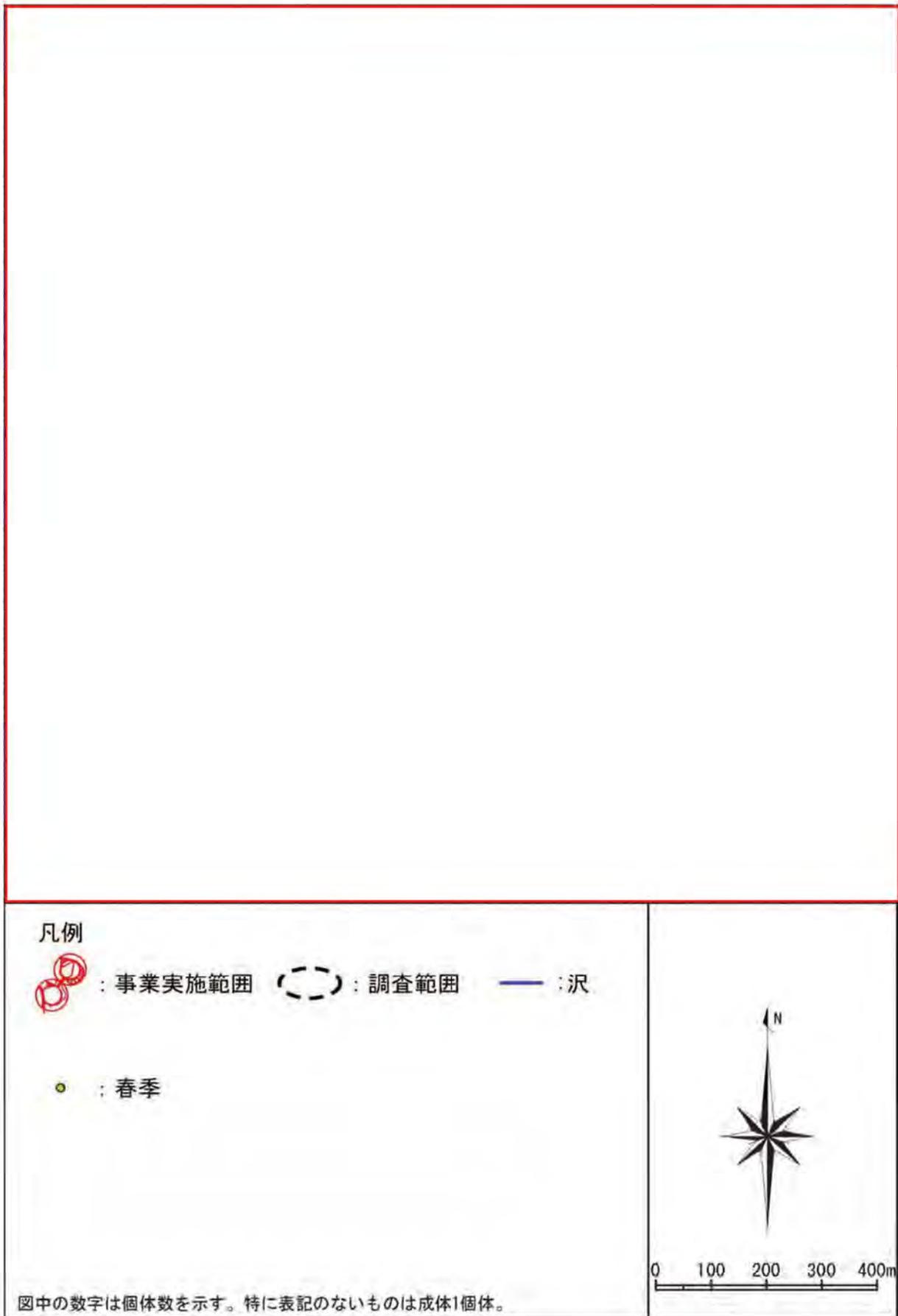


図 6.1.5-35 ホルストガエルの確認位置(N-1 地区)

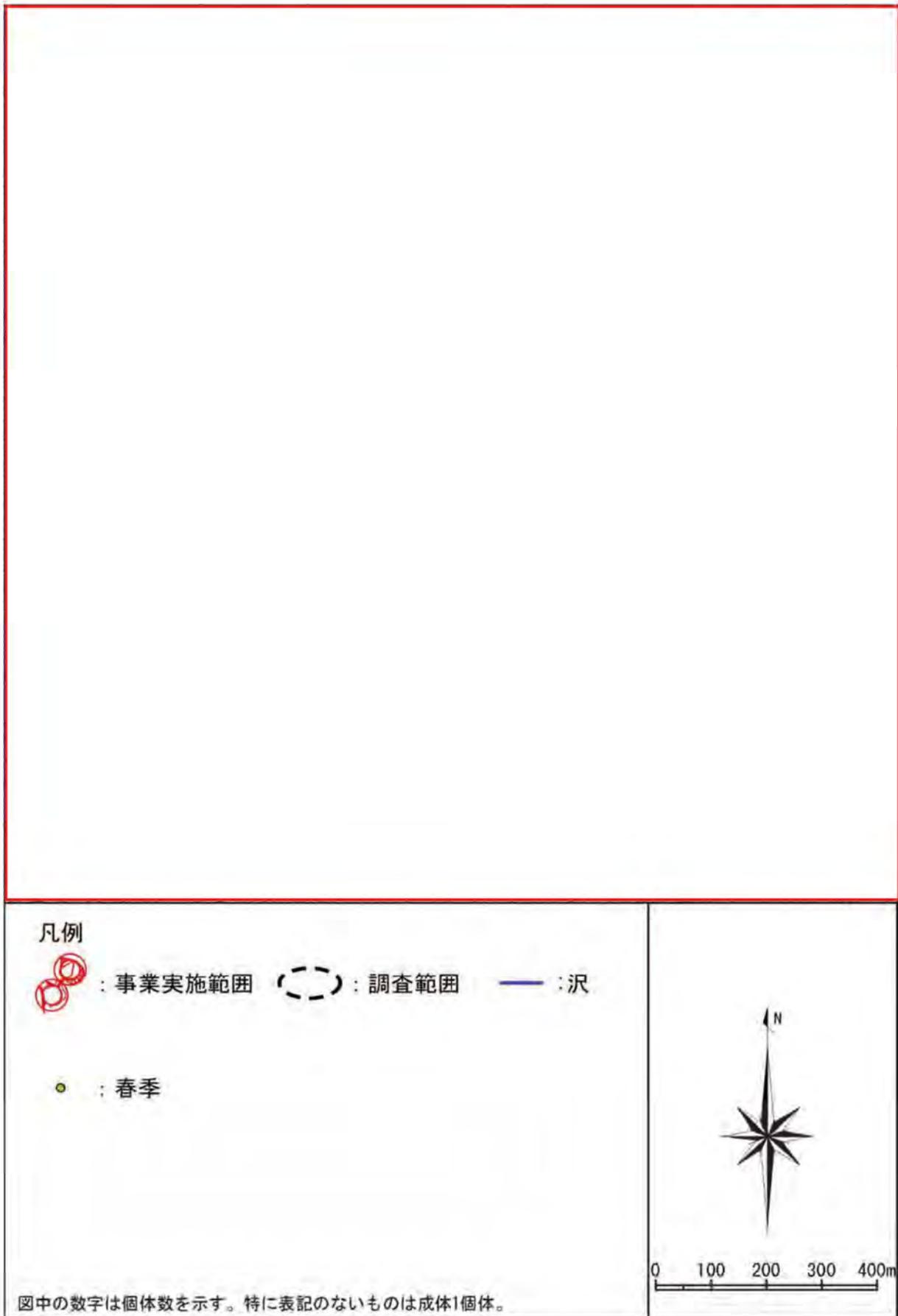


図 6.1.5-36 ナミエガエルの確認位置(N-1 地区)

j) アオバラヨシノボリ、キバラヨシノボリ

キバラヨシノボリはいずれの地区においても確認されなかった。

アオバラヨシノボリの確認状況を表 6.1.5-18 に示した。調査は図 6.1.5-37～図 6.1.5-39 に示す概ね 50m を 1 区間とし、確認個体数の集計を行った。

結果はいずれの地区においても春季調査で個体の生息を確認したほか、浮遊仔魚も確認されており繁殖が行われているものと考えられた。

G 地区では成魚(雄)が 個体、成魚(雌)が 個体、未成魚が 個体、浮遊仔魚が 個体確認された。流量の多い 及び で多くの個体が見られた。

H 地区では成魚(雄)が 個体、成魚(雌)が 個体、未成魚が 個体、浮遊仔魚が 個体確認された。着陸帯の で多くの個体が見られた。

N-1 地区では成魚(雄)が 個体、成魚(雌)が 個体、未成魚が 個体、浮遊仔魚が 個体確認された。流量の多い で多くの個体が見られた。

表 6.1.5-18 アオバラヨシノボリの確認数 (概要)

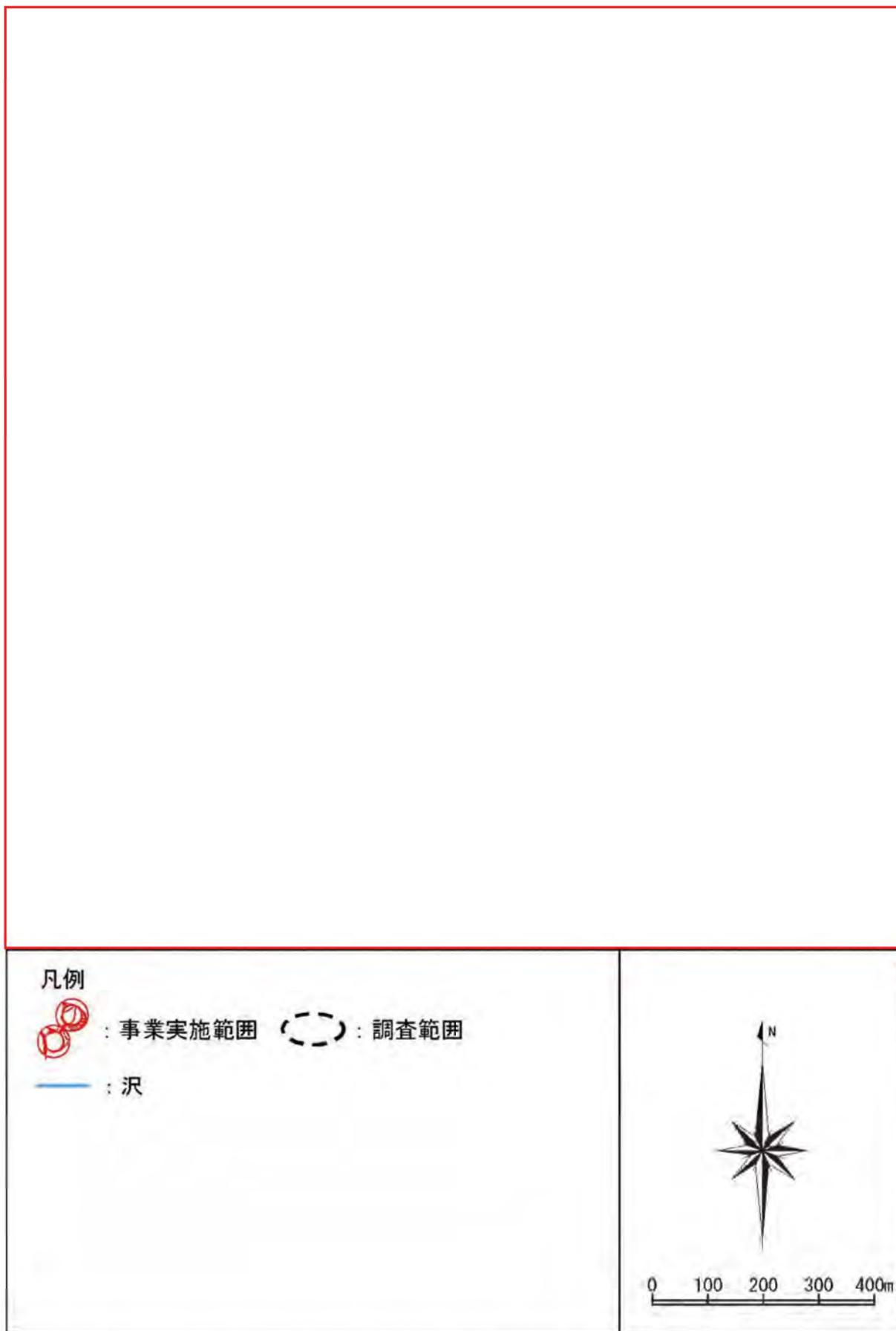
地区	季節/区分	アオバラヨシノボリ				
		成魚(雄)	成魚(雌)	未成魚	浮遊仔魚	計
G地区	春季					
H地区						
N-1 地区						



図 6.1.5-37 アオバラヨシノボリ、キバラヨシノボリの調査区間(G地区)



図 6.1.5-38 アオバラヨシノボリ、キバラヨシノボリの調査区間(H地区)



凡例

 : 事業実施範囲
  : 調査範囲

 : 沢



0 100 200 300 400m

図 6.1.5-39 アオバラヨシノボリ、キバラヨシノボリの調査区間(N-1 地区)

k) オキナワミナミヤンマ

オキナワミナミヤンマは全地区で確認されなかった。

l) ヤンバルテナガコガネ

ヤンバルテナガコガネは全地区で確認されなかった。

m) マングース、ノネコ

マングース及びノネコは全地区で確認されなかった。

n) その他(淡水藻類の生育状況)

(a) G 地区

G 地区における重要な淡水藻類の確認状況を表 6.1.5-19、図 6.1.5-40 に示した。重要な淡水藻類は紅藻類の []、[]、[]、[]、[]、[] の計 5 種が確認された。なお、分類形質となる部位が確認できなかった藻体については []、[]、[] としている。

確認状況は比較的水量の多い宇嘉川本線や着陸帯、進入路の西側の沢に []、[]、[] が、東側の流れの緩やかな沢及び源流域に []、[] や [] が確認された。

表 6.1.5-19 重要な淡水藻類の確認状況(G 地区)

No.	種名	環境省	沖縄県	確認地点数
		RL	RDB	春季
1	[]	NT	NT	203
2		NT	NT	30
3		CR+EN	CR+EN	2
-		-	-	3
4		CR+EN	CR+EN	17
-		-	-	4
5		CR+EN	CR+EN	5
-		-	-	17
計		種類数		
	地点数			281

注) 貴重種のカテゴリーは以下のとおりである。

- 環境省 RL: 「環境省レッドリスト 2020 の公表について」(2020) 環境省
- CR: 絶滅危惧 IA 類 : ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
- EN: 絶滅危惧 IB 類 : IA 類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
- VU: 絶滅危惧 II 類 : 絶滅の危険が増大している種
- NT: 準絶滅危惧 : 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
- 沖縄県 RDB: 「改訂 沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物第 3 版 (菌類編・植物編)-レッドデータおきなわ」(2018) 沖縄県
- CR: 絶滅危惧 IA 類 : 沖縄県では、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
- EN: 絶滅危惧 IB 類 : 沖縄県では IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- VU: 絶滅危惧 II 類 : 沖縄県では絶滅の危機が増大している種
- NT: 準絶滅危惧 : 沖縄県では存続基盤が脆弱な種

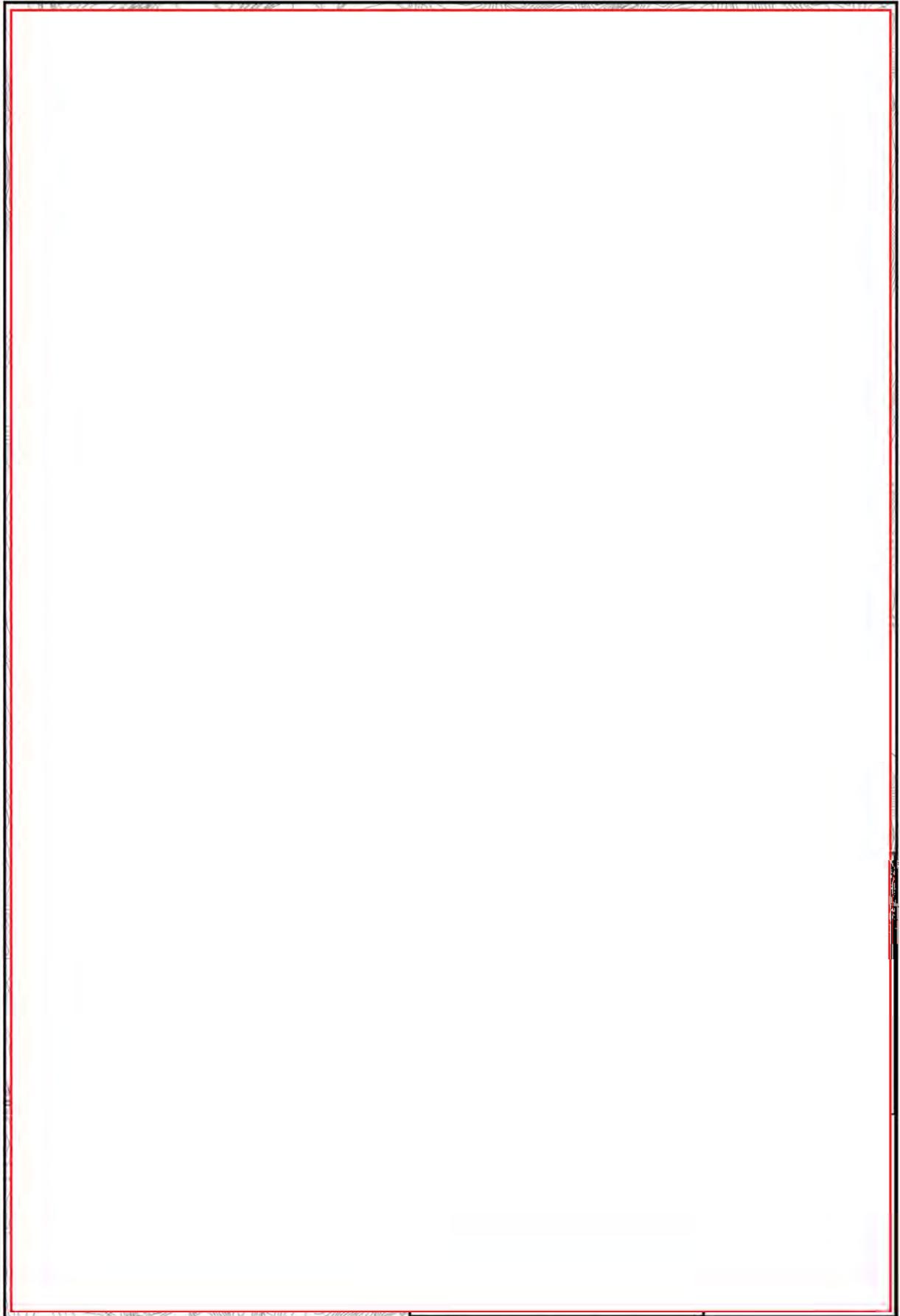


図 6.1.5-40 重要な淡水藻類の確認位置(G 地区 : 春季)

(b) H 地区

H 地区における重要な淡水藻類の確認状況を表 6.1.5-20、図 6.1.5-41 に示した。重要な淡水藻類は紅藻類の []、 []、 []、 [] の計 4 種が確認された。なお、分類形質となる部位が確認できなかった藻体については [] としている。

確認状況は着陸帯の東西を流れる河川の多くに [] が、所々に [] が見られた。 [] は着陸帯からの流下経路に当たる沢のカルバートで既存道路を跨ぐ箇所の淵で、 [] はその下流側で確認された。

表 6.1.5-20 重要な淡水藻類の確認状況 (H 地区)

No.	種名	環境省	沖縄県	確認地点数
		RL	RDB	春季
1	[]	NT	NT	136
2		NT	NT	14
3		-	-	1
4		CR+EN	CR+EN	1
計		種類数		4 種
		地点数		152

注) 貴重種のカテゴリーは以下のとおりである。

環境省 RL: 「環境省レッドリスト 2020 の公表について」(2020) 環境省

CR: 絶滅危惧 IA 類 : ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種

EN: 絶滅危惧 IB 類 : IA 類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種

VU: 絶滅危惧 II 類 : 絶滅の危険が増大している種

NT: 準絶滅危惧 : 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

沖縄県 RDB: 「改訂 沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物第 3 版 (菌類編・植物編)-レッドデータおきなわ」(2018) 沖縄県

CR: 絶滅危惧 IA 類 : 沖縄県では、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの

EN: 絶滅危惧 IB 類 : 沖縄県では IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

VU: 絶滅危惧 II 類 : 沖縄県では絶滅の危機が増大している種

NT: 準絶滅危惧 : 沖縄県では存続基盤が脆弱な種

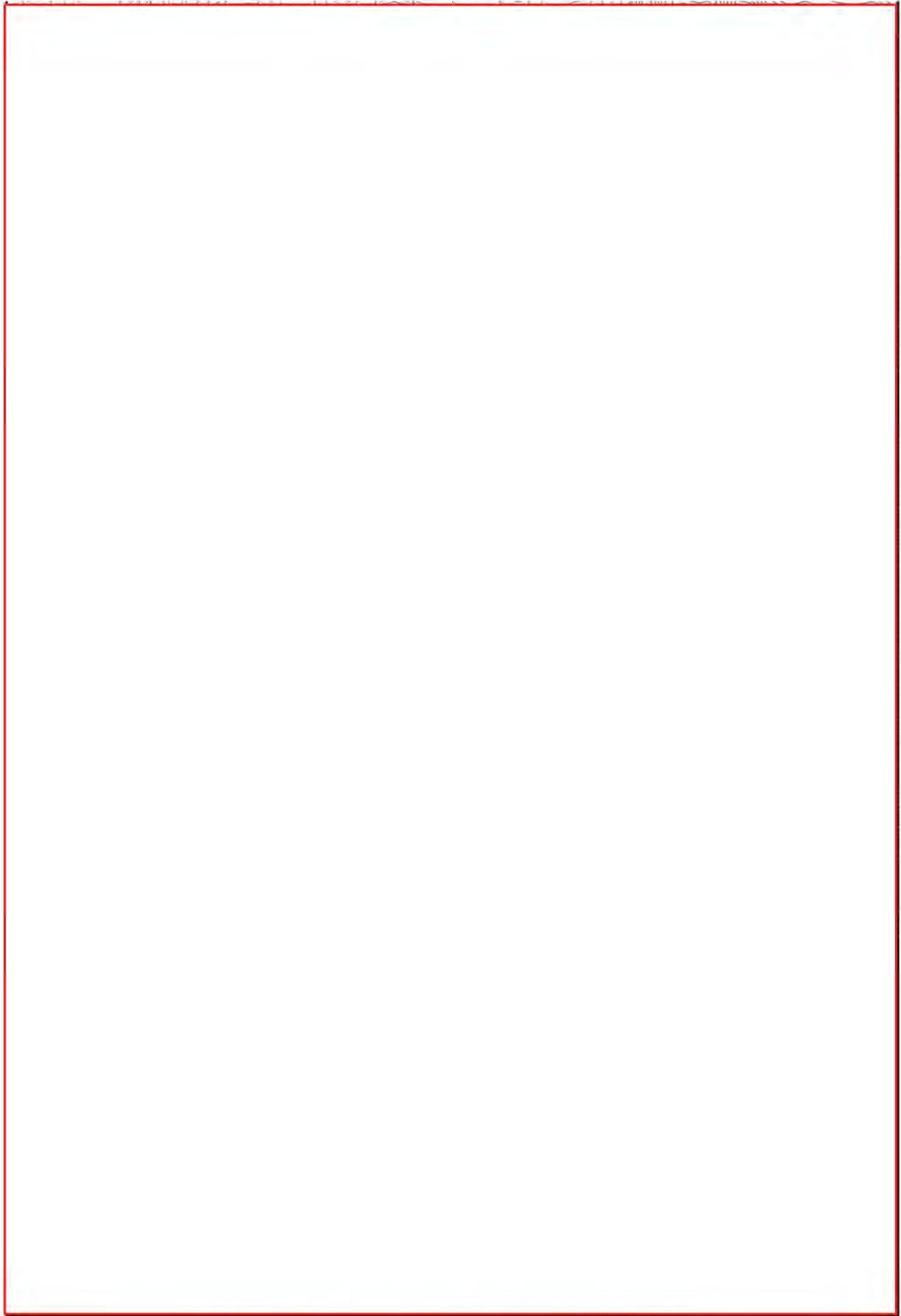


図 6.1.5-41 重要な淡水藻類の確認位置(H地区：春季)

(c) N-1 地区

N-1 地区における重要な淡水藻類の確認状況を表 6.1.5-21、図 6.1.5-42 に示した。重要な淡水藻類は紅藻類の []、[]、[]、[] の計 4 種が確認された。なお、分類形質となる部位が確認できなかった藻体については [] としている。

確認状況は比較的水量の多い宇嘉川本線や新川ダムに流入する沢で [] が、宇嘉川本川で [] が、流れの緩やかな沢の源流域に []、[] が確認された。

表 6.1.5-21 重要な淡水藻類の確認状況(N-1 地区)

No.	種名	環境省	沖縄県	確認地点数
		RL	RDB	春季
1	[]	NT	NT	48
2		NT	NT	3
3		CR+EN	CR+EN	4
4		-	-	6
計		種類数		4 種
		地点数		61

注) 貴重種のカテゴリーは以下のとおりである。

環境省 RL: 「環境省レッドリスト 2020 の公表について」(2020) 環境省

CR: 絶滅危惧 IA 類 : ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種

EN: 絶滅危惧 IB 類 : IA 類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種

VU: 絶滅危惧 II 類 : 絶滅の危険が増大している種

NT: 準絶滅危惧 : 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

沖縄県 RDB: 「改訂 沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物第 3 版 (菌類編・植物編)-レッドデータおきなわ」(2018) 沖縄県

CR: 絶滅危惧 IA 類 : 沖縄県では、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの

EN: 絶滅危惧 IB 類 : 沖縄県では IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

VU: 絶滅危惧 II 類 : 沖縄県では絶滅の危機が増大している種

NT: 準絶滅危惧 : 沖縄県では存続基盤が脆弱な種

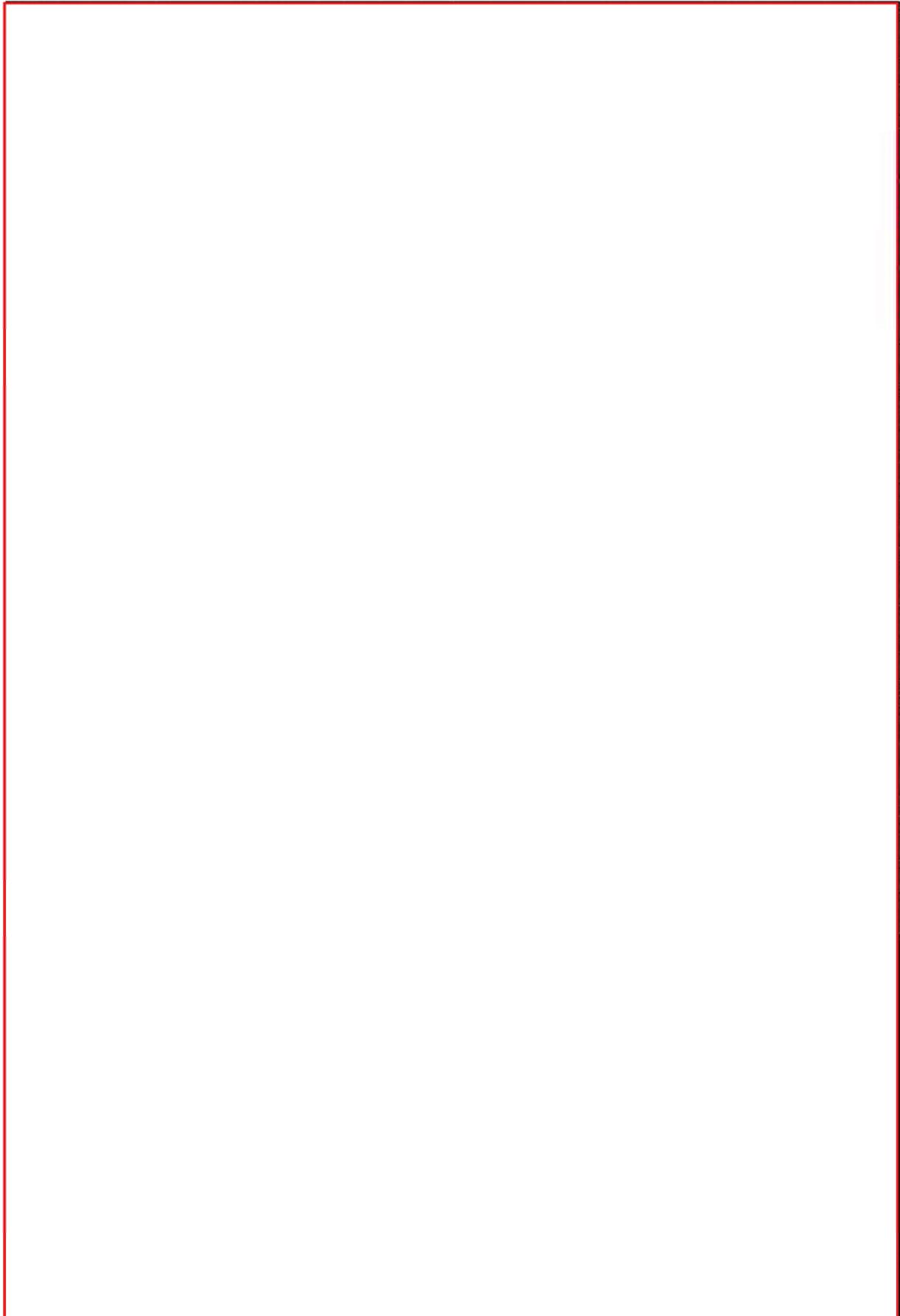


図 6.1.5-42 重要な淡水藻類の確認位置(N-1 地区：春季)

6.1.6 景観

1) 囲繞景観

(1) 調査期間

調査の実施期間を表 6.1.6-1 に示した。

表 6.1.6-1 調査期間一覧

地区/季節	春季
G 地区	令和 2 年 5 月 27 日
N-1 地区	令和 2 年 5 月 27 日

(2) 調査方法

調査は評価図書時に実施した囲繞景観の調査地点において写真撮影を行い囲繞景観の状況の変化を把握した。

(3) 調査地点

図 6.1.6-1～図 6.1.6-2 に示す評価図書における調査地点と同一地点において実施した。

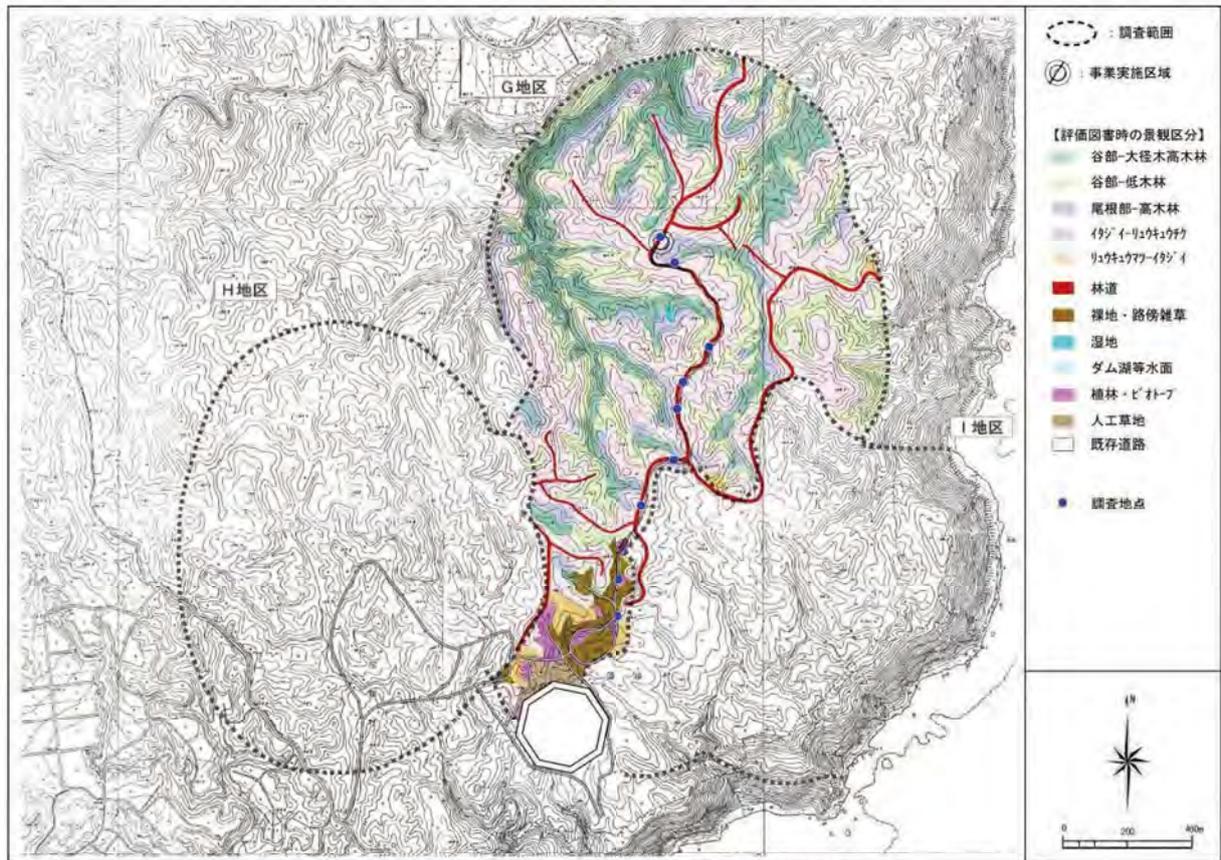


図 6.1.6-1 景観調査の調査地点(G)

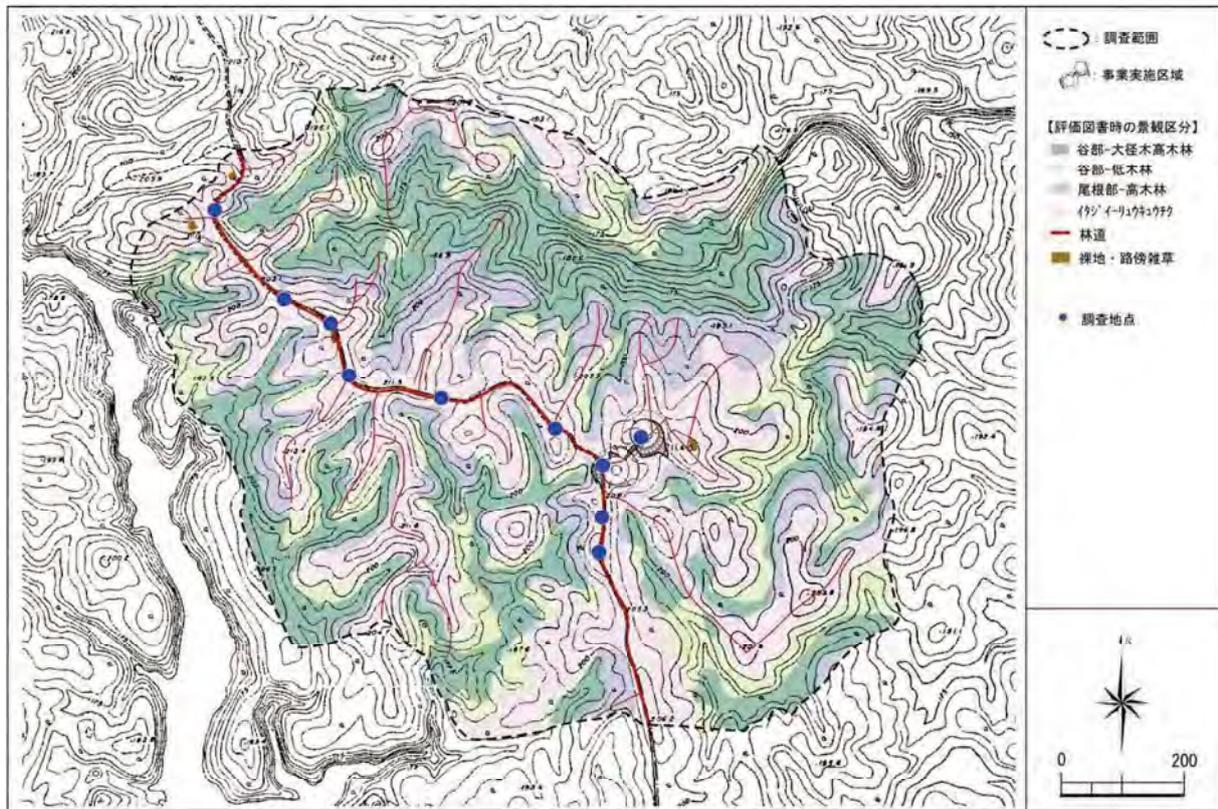


図 6.1.6-2 景観調査の調査地点(N-1)